

1 はじめに

現在地方の医療は、診療圏人口の減少や急激な少子高齢化の進行、深刻な医師不足などの厳しい環境にあります。また、政策として在宅医療の推進がはかられており、地域包括ケア病棟（病床）や緩和ケア病棟（病床）の整備をふくめた在宅支援を進めなければなりません。地域医療構想にもとづいて地域の医療機関、老健施設、ケア施設とのより深い緊密な連携をはかっていく必要もあります。これに加え、薩南病院は建物の老朽化も深刻で、「県立薩南病院あり方検討委員会」による提言をうけた新病院の建設計画も早急に推進されねばなりません。

このような中で遅くなりましたが平成27年度の県立薩南病院年報を発行することとなりました。この年報は当院職員の皆様の1年間の成果が表れています。おかげさまで患者数、収益ともに平成26年度を上回るものとなりました。職員の皆様の努力のたまもので、心より感謝申し上げます。

薩南病院の現況を表すこの年報を詳しくご覧いただき、病院経営のご理解と今後の病院運営の計画、先に述べた病院の諸課題の解決に向けた資料となれば幸いです。

平成29年2月

薩南病院長 三枝伸二